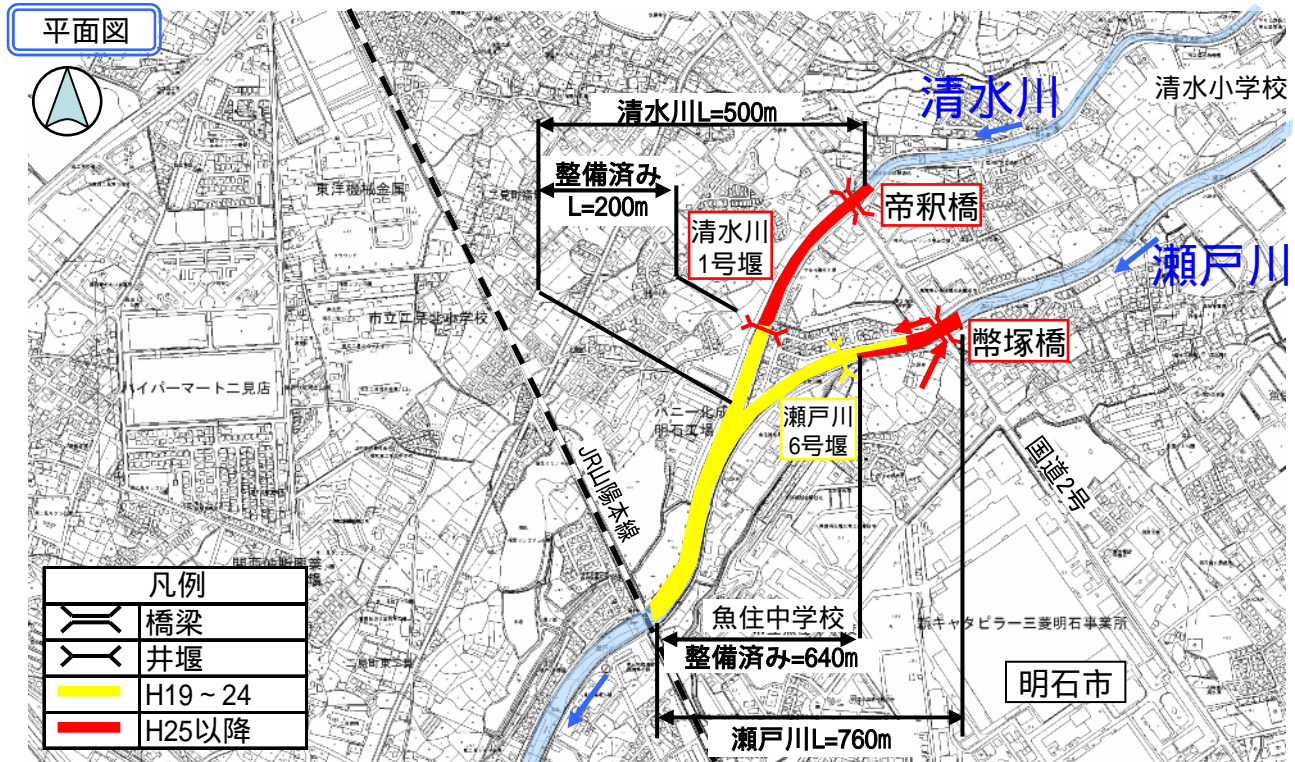


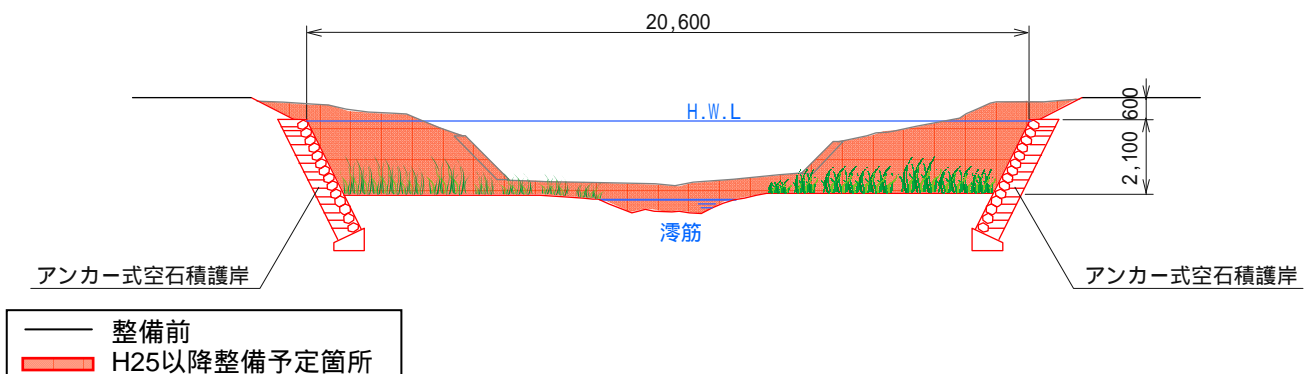
未整備区間現況(瀬戸川)



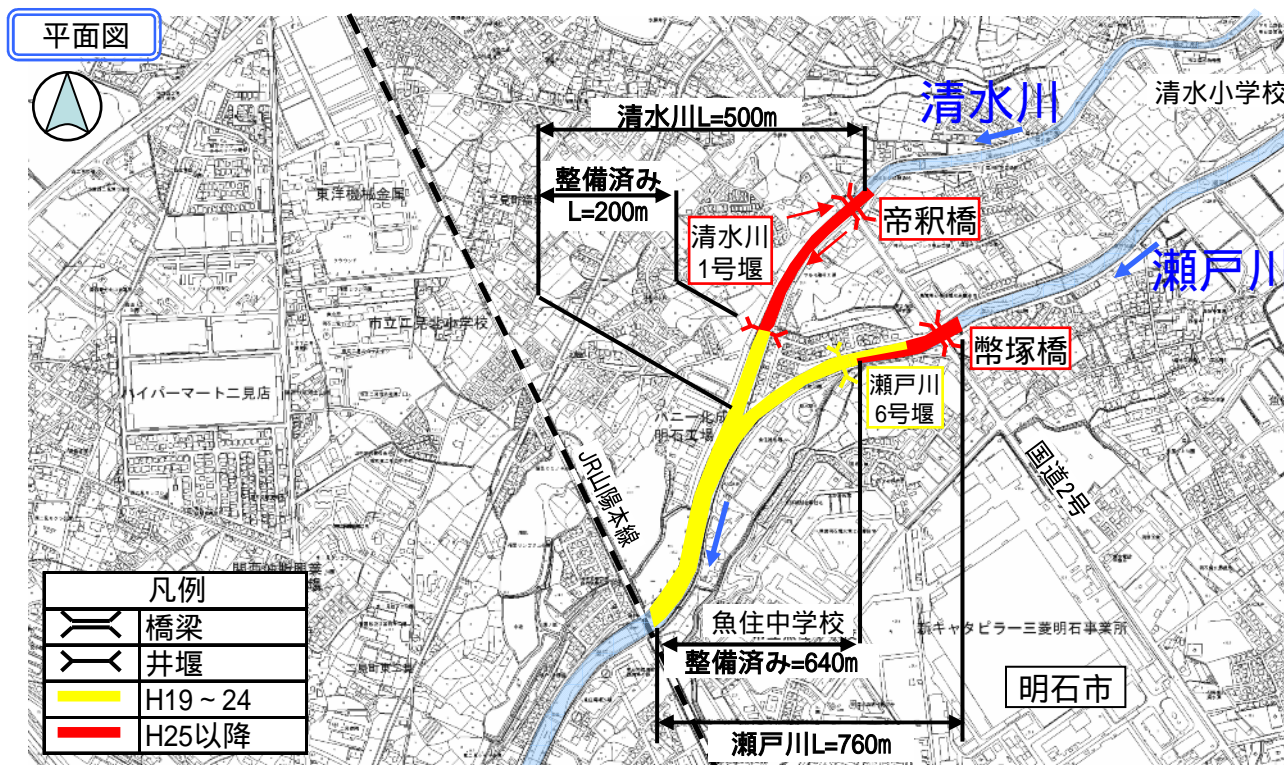
瀬戸川(幣塚橋下流)



瀬戸川(幣塚橋)



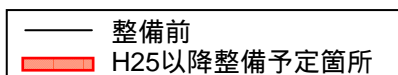
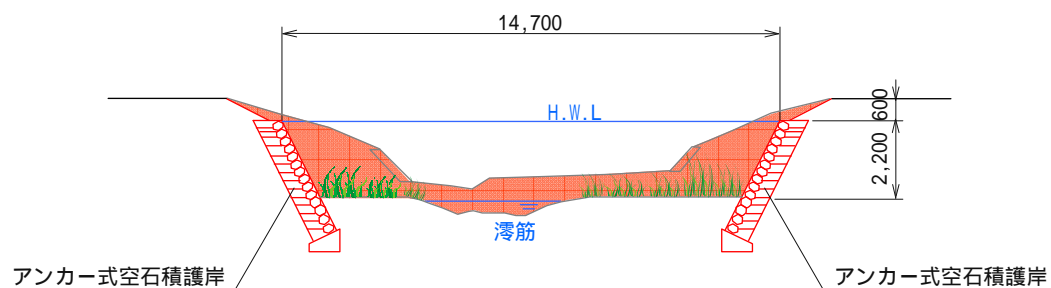
未整備区間現況(清水川)



清水川(帝釈橋下流)



清水川(帝釈橋)



1. 実施工程表



		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
瀬戸川	用地買収													
	河道改修 (掘削・護岸)													
	橋梁													
清水川	用地買収													
	河道改修 (掘削・護岸)													
	橋梁													
	井堰													

2. 事業効果について

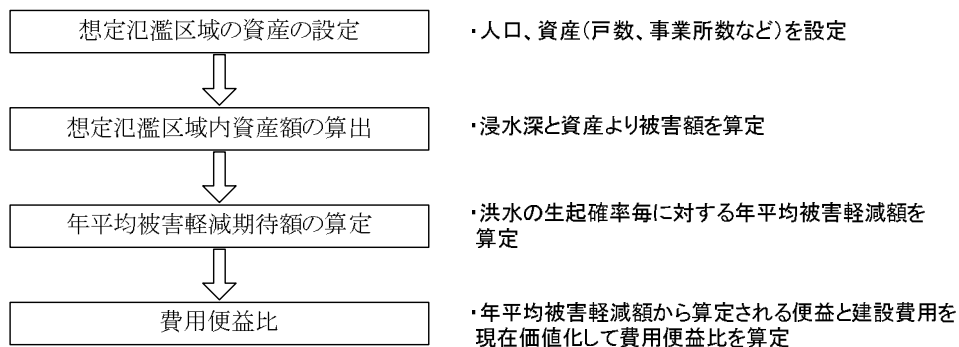
(1) 費用対効果

便益(B)の項目

- 便益 = 治水事業を実施することによる被害軽減期待額を現在価値化
被害額 = 一般資産被害(家屋、家庭用品、事業償却資産、農漁家償却資産等)
+ 農産物被害 + 公共土木施設等被害 + 営業停止被害 + 応急対策費用
- 費用 = 「建設費 + 維持管理費」を現在価値化

< 凡例 >	
	前回評価時点
	現計画

治水経済調査マニュアル(案)国土交通省河川局 平成17年4月



費用便益比(B/C)算出根拠

便益(B)		費用(C)			B/C
総便益費 (百万円)	代表的な効果	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
4,614	計画規模の降雨に対して ・浸水戸数236戸の解消 ・浸水面積20.6haの解消	494	445	49	9.3

河川整備計画の整備区間を対象

(2) 費用対効果に含まれない効果

国道2号等の交通途絶の解消
 避難所(魚住中学校)周辺の浸水被害の解消
 井堰改築にあたっては、魚道を設置し、生物の移動が可能となるように配慮
 瀬戸川と清水川の合流点に階段を設け、親水性に配慮した河川改修を実施

河川事業の効果

対象事業: 二級河川瀬戸川 総合流域防災事業

(1) 費用対効果

評価の視点	効果項目 (費用対効果の便益内容)
治水安全度の向上	浸水被害の軽減 <div> ・一般資産被害 (家屋、家庭用品、事業所償却資産、 農業家償却資産等) ・農産物被害、公共土木施設等被害、 営業停止被害、応急対策費用 </div>

(2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点	効果項目
社会経済活動等の安定	道路、鉄道等の交通途絶による波及被害の解消
	医療施設や防災拠点施設など重要施設被害等の解消
魅力ある河川空間の創造	多様な生物の生活環境の保全・再生・創出
	親水空間の整備

該当する事業内容	
	国道2号等の交通途絶の解消
	避難所(魚住中学校)周辺の浸水被害の解消
	瀬戸川と清水川の井堰改築にあたっては、魚道を設置し、生物の移動が可能となるようにする
	瀬戸川と清水川の合流点に階段を設け、親水性に配慮した河川改修を行っている。

印は当該事業効果の主な項目